

それだけにまた、ドップ自身が、1956年以降のソヴェト計画理論分野における、投入・産出分析に対する関心に示されるような討論と思考の復活に、かなりの期待を寄せていることも推察されるのである。

[資料ノート]

社研受入図書資料一覧 (No. 16)

購 入

- ① 大内兵衛・細川嘉六監訳 「マルクス=エンゲルス全集」 1~18, 23a, b・24・25a, b, 1967年刊
- ② 大原社会問題研究所「日本労働年鑑」覆刻版 第1巻~第3巻, 第36巻~38巻, 1967年刊
- ③ 労働省・職業安定局「労働市場年報」昭和24・27・28・30・33・34・35年
- ④ 昭和同人会「統計から見た雇用と失業」第四部 昭和32年
- ⑤ 昭和同人会「我国完全雇用の意義と対策」昭和32年刊
- ⑥ 国鉄労働組合編「国鉄労働組合20年史」昭和42年刊
- ⑦ 外務省編者「国連貿易開発会議の研究 II」
- ⑧ William R. Shepherd, Historical Atlas, 1964
- ⑨ Hugh Seton-Watson, The Russian Empire 1801-1917, 1967
- ⑩ Guiseppe Del Bo (Dreazione), Annali 1963, 1964
- ⑪ R. Beerman, Beermans Financial Year Book of Europe, 1967
- ⑫ Edited by Ralph Miliband & Tohn Sairlle, The Socialist Register 1967, 1967

< 研究業績 >

前号以後の所員の研究業績は次のとおり。

〔著書〕 内田義彦 『日本資本主義の思想像』（岩波書店）

〔論文〕 吉沢芳樹：山之内晴著『イギリス産業革命の史的分析』（『土地制度史学』第37号，1967年10月刊）

森田桐郎 『現代経済分析と変革の視点』（「経済評論」1967年11月号）

森川喜美雄 『ブルードンとマルクス』（経済学史学会編『「資本論」の成立』岩波書店）

正村公宏 『日本経済分析入門』（「経済セミナー」1967年4月号より連載中）

高橋七五三 『独占資本主義における価値と価格』（専大社研「社会科学年報」第2号）

宮下誠一郎 『マルクスのケネー把握についての一考察』（同上）

栗木安延 『戦後日本鉄鋼業の労働力再編』〔実態調査報告〕（同上）

玉垣良典 『エス・メンシコフ：現代循環のメカニズムについて』〔訳・解説〕（同上）

< 編 集 後 記 >

月報49号をお届けします。本号で今年さいごの発行ということになりました。ごらんのとおり、本号は10月号にあたるわけですが、このように遅れたのはなによりも編集子の未熟によるものと、お叱りは甘受しなければなりません。しかし弁解を云わせてもらえば、現在、当社研のメンバー諸兄がそれぞれに大きいお仕事に取り組んでいらっしゃるの、原稿の督促に二の足を踏むことになったという事情があります。このことは、他面では、諸兄の研究の蓄積を意味しており、また当社研自体の研究体制の進展をも示しています。こう考えると月報の遅れも、あながち嘆かわしいとはいいきれず、むしろ、やがて月報に盛りきれなくなるような研究の成熟の季節のまえふれかとも思えるのです。

とはいえ、発行の遅れはやはり遅れであり、編集子はお努力を重ねていきたいと思えます。諸兄のご研究の過程で生れる「余滴」といったものを、ぜひ月報に反映させて下さいますようお願いいたします。

（事務局：宮坂・宮下記）

東京 都千代田区 神田神保町3の8

専修大学社会科学研究所 電話(265) 6211~20〔内線53〕

（発行者） 小 林 義 雄